

たかみねふるじまいせき  
高嶺古島遺跡



高嶺古島遺跡

高嶺古島遺跡は字高嶺集落の北西側にある老人保健施設一帯に存在します。

同遺跡は老人保健施設建設にともない1988年に緊急記録保存調査が行なわれており、その結果、多くの資料が得られています。

遺構は集石遺構、溝状遺構、石列遺構、柱穴群などが検出されています。溝状遺構は排水を目的として構築されたものと思われ、その下からは柱穴群が検出されていることから当時の住居空間と思われます。集石遺構や石列遺構はどのような性格かは判然としませんが明らかに何らかの目的をもって構築したものと思われます。柱穴群の状況から当時の住居は掘立柱で、屋根は瓦が出土しないことから茅葺であったと思われます。

その他、出土遺物としては、土器、輸入陶磁器、鉄製品、土製品等多くの資料が得られています。輸入陶磁器をみると中国産の青磁や白磁等が主体であり、それらの出土遺物から同遺跡は14～15世紀を主体とした遺跡であると思われます。また、特に注目される遺物は破片資料であるが土製品で馬の形になるものと思われる資料が出土しており、県内でも出土事例は少なく、祭祀に関する貴重なものと思われます。

